

2024 年度  
AM 研究会  
賛助会員募集 趣意書

2024年1月16日

## AM研究会 2024年度企業賛助会員募集について

AM研究会

委員長 中野貴由

副委員長 前川篤

### 1. 趣旨

AM研究会は、2022年4月に発足し、産学官・学協会の枠組みを超えたAMの学術・技術の構築により日本の製造業を強化することを目的として、現在までに多くの企業(134社)、大学・高等専門学校(42校)、研究機関(9団体)、協力団体(6団体)にご参画いただいております。昨年までに、定例委員会(セミナー)を東京、大阪をオンサイト会場とし、WEBとのハイブリット形式で開催し、AMサイエンス、AMテクノロジー、AMビジネスを3本柱として、情報交換や人脈形成、AM事業の成功例を増加させる場として活動して参りました。今後は、これまでの定例委員会(セミナー)(年4回程度開催)に加えて、教育オンライン講演(2024年2月より、定期的実施予定)、研究開発動向調査などの各種行事の開催、行政関係者の基調講演の実施や日本学術会議等を通じた政策提言なども行っていくこととしております。

この2年間、当会は関係各位によるボランティアにて運営を行ってまいりましたが、AM研究会の活動をより一層加速させるとともに、2025年4月に設立予定の(一社)日本 Additive Manufacturing (AM) 学会<sup>®</sup>の準備を進めるべく、正式な形での運営事務局を設立することにいたしました。今後は、強固な運営体制のもとで、日本発の多岐にわたる材料やモノづくり技術を統括する場として進化した形での活動を進めて参りたいと存じます。そのためには、企業・協力協会・団体の皆様からの資金的なご支援が必須となります。

つきましては、本事業活動をご支援いただける企業・協力協会・団体様を2024年度より募集することになりました。皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、本会の賛助会員としてご参画いただき、AMによる製造業強化推進の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 賛助会員について

・賛助会員は、「プラチナ会員」と「ゴールド会員」の2区分とします。

2024年度 プラン		企業所属の方	企業/協所属の方	左記以外の方	
		<b>Platinum</b> 当会の理念に賛同し、AM研究会の運営にご協力頂ける企業様	<b>Gold</b> 当会の理念やミッションにご賛同・ご支援頂ける企業・協会様	<b>一般会員</b> 学生、国研究機関、アカデミア、公設試の方	<b>非会員</b> 2025年度より有料
研究会	特典	コア・メンバー会の参画権利 ・AM研究会HPに広告バナー無料掲載 ・教育講演の参加費割引			
	年会費	100万円/企業	30万円/企業		
		20名迄の登録会員は個人年会費無料(2025年度より)	5名迄の登録会員は個人年会費無料(2025年度より)		
定例委員会(セミナー) 4回/年 2025年～2回/年予定		無料 懇親会は実費を徴収			
教育講演 3回/年予定		聴講1万円		聴講1万円 (学生無料)	聴講3万円

### ◎プラチナ会員(年会費:100万円)

#### 位置付け

- 当会の理念に賛同し、AM研究会の運営にもご協力いただける企業様  
 プラチナ会員企業には、コア・メンバー会<sup>\*1</sup>に参画いただき、AM研究会(2025年4月からは、(一社)日本AM学会)の運営方針の決定を行っていただく。ここでは、プラチナ会員間の情報交換とともに政府への提言も行う。さらにAM研究会((一社)日本AM学会)会員間のビジネス拡大から教育の場に至るまでの運営戦略策定にご協力いただく。
- AMを通じた日本製造業の産業競争力強化を牽引して頂ける企業様  
 (AM装置の製造企業、粉末・材料を取り扱う企業、制御・システム企業、サービス企業、ユーザーなどの各代表)

#### 特典

- コア・メンバー会(2025年4月からは理事会)の参加権利
- 定例委員会(セミナー)での発表・情報発信の場を優先的に提供
- 2025年度以降は、登録会員は20名迄個人年会費(1.5万円/人)無料<sup>\*2</sup>
- オンライン教育講演への参加費割引(割引率等は、コア・メンバー会にて今後検討)
- AM研究会((一社)日本AM学会)のHPでの社名掲載と広告バナーの掲載<sup>\*3</sup>
- 定例委員会(セミナー)、学会発足後の講演大会での講演合間時間等での動画宣伝<sup>\*3</sup>
- その他特典(コア・メンバー会で順次決定)

## ◎ゴールド会員(年会費:30万円)

### 位置付け

- 当会の理念に賛同・ご支援いただける企業・関連協会様
- AMを通じて、事業参画・強化を推進したい企業・関連協会様

### 特典

- 2025年度以降は、登録会員は5名迄個人年会費(1.5万円/人)無料<sup>※2</sup>
- オンライン教育講演への参加費割引(割引率等は、コア・メンバー会にて今後検討)
- AM研究会((一社)日本AM学会)のHPでの社名掲載と広告バナーの掲載<sup>※3</sup>
- 定例委員会(セミナー)、学会発足後の講演大会での講演合間時間等での動画宣伝<sup>※3</sup>
- その他特典(コア・メンバー会で順次決定)

※1 コア・メンバー会:当会会員の代表による、当会の運営や戦略策定を担う機関を指します。日本AM学会設立後には、コア・メンバー会は理事会へと移行いたします。

※2 学会発足後(2025年4月を予定)に必要な年会費が対象となります。

※3 プラチナ会員とゴールド会員にてサービスの内容が異なります。

## 3. 賛助会員入会の流れ

下記の【賛助会員入会申込フォーム】に必要な事項を記入して、事務局にお送りください。年会費の請求書を送付いたしますので、2ヶ月後までに年会費をお振り込み下さい(振込期限は事務局にご相談ください)。恐れ入りますが、振込手数料はご負担をお願いいたします。

### 【年会費振込先】

銀行 : 三菱UFJ銀行(0005)

支店名 : 千里中央支店(店番号 240)

口座番号: 普通 0687595

口座名義: シヤ)ニツポンアデイティブマニユフアクチュアリングガツカイ

### 【本件に関する問い合わせ先】

AM研究会事務局: [additive.manufacturing@mat.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:additive.manufacturing@mat.eng.osaka-u.ac.jp)

大阪大学・助教 小笹良輔(06-6879-7507)

## 【AM 研究会賛助会員の入会申し込みフォーム】

・以下のとおりに貴研究会の賛助会員への入会を申し込みます。

日付:2024年 月 日

会社・団体名:

所属:

部署:

役職:

氏名:

連絡先 e-mail:

連絡先 TEL:

会員区分:プラチナ会員 ゴールド会員 (一方を削除してください。)

(代表者の他に連絡窓口を設ける場合)

担当者所属:

担当者氏名:

担当者連絡先 e-mail:

担当者連絡先 TEL:

#### 4. 参考資料(AM 研究会概要と賛助会員様のメリット)

##### (1) AM 研究会 (2025 年 4 月より、(一社)日本 AM 学会)

###### ・所在地

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1, F2-206(大阪大学大学院工学研究科内)

Email: [additive.manufacturing@mat.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:additive.manufacturing@mat.eng.osaka-u.ac.jp)

Tel: 06-6879-4448

###### ・委員長、副委員長

委員長: 中野 貴由(大阪大学大学院工学研究科 教授/前(公社)日本金属学会会長/日本学術会議 会員)

副委員長: 前川 篤(大阪大学招聘教授/株式会社シグマクス シニアフェロー、前技術研究組合次世代 3D 積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)理事長)

###### ・事務局

山村英明

大阪大学 秘書・瀬田珠代、助教・小笹良輔

株式会社シグマクス 桐原慎也、和田峻一、永澤正和

##### (2) 理念

###### (A) ミッション

産学官、学協会の枠組みを超え、AM の学術・技術の構築を行うことにより、デジタル技術を駆使して AM 技術を日本に広く普及させ、日本の製造業強化を図ります。また、政府への政策提言、日本学術会議での活動などの取りまとめ、2025 年 4 月を目標に「日本 Additive Manufacturing (AM) 学会」を設立します。

(注) 本研究会では金属(メタル)にとどまらず、高分子、セラミックス、ガラス、樹脂、細胞やそれらの複合材料などを広く取り扱います。

###### (B) 活動目的

AM は近年、モノづくりの仕組みを変革するテクノロジーとして、学術界・産業界の双方で大きな関心を集めています。AM の基本概念そのものは日本で考案されたものの、世界規模でのデジタル化の波の中で、日本はその研究/予算規模や成果報告数において欧米・中国の後塵を拝しています。

日本が AM 分野において再び主導権を握り、ひいては、AM を通じて世界の材料(金属・セラミックス・樹脂、細胞など)科学を牽引するためには、基礎研究から研究成果の社会実装までをシームレスに、そして産・学・官の分け隔てなく議論するための「場」が不可欠です。さらに、AM は単に複雑形状の部品を得るための手法に留まらず、素材の機能性に直結する材質の自在な制御をも可能とするテクノロジーとなっており、従来の範疇を超える材料特性・機能性の制御が実現されつつあります。従って、材料工学、結晶学、計算機材料学、溶接工学、機械工学、化学工学、情報工

学、土木・建築工学、医学といった多くの分野にまたがる横断的・融合的分野と捉える必要があります。加えて、AM はデジタルツイン技術との融合により飛躍的な進化が期待できます。日本発の優れた学術的研究成果の創出や高付加価値製品の実用化、今後の日本の AM 分野の取り組みの方向性議論・決定のため、産学官そして多分野の有機的連携を促進する為に本研究会を設立します。

さらに 2025 年 4 月から、(一社)日本 AM 学会(日本 Additive Manufacturing 学会<sup>®</sup>)へと移行し、「AM サイエンス」、「AM テクノロジー」、「AM ビジネス」の 3 本柱(「AM アート」をそれぞれに含む)を中心に日本の AM 分野を牽引し、製造業の活性化を目的とします。

### (3) 会員メリット

当研究会に参画することで、下記 7 つのメリットを得ることが出来ます。企業・団体においては、2024 年 4 月からは、賛助会員(プラチナ・ゴールド)となることで享受できます。学生、国研究機関、アカデミア、公設試の方は、2025 年 4 月の(一社)日本 AM 学会設立と同時に有料の会員登録を行っていただくことでメリットを得ることができます。

